


2018～2019 年度国際ロータリーのテーマ

インスピレーションになろう

●会長 白石 繁
●幹事 村瀬 直久

 No.1631 平成 30 年 09 月 26 日 第 12 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町 4 の 2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町 4 の 2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



インスピレーションになろう

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「我らの生業」

■来訪者紹介

(熊本東南 RC 会長 白石 繁)

有田 RC 岩尾慶一 君
米山奨学生 翁力棟 君
見学 福島由紀 様

■県外の来訪者から一言

有田 RC 岩尾慶一 君



■会長の時間

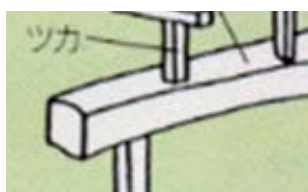
(熊本東南 RC 会長 白石 繁)



◇ 住まいの専門用語と日常会話
日常使われる用語に建築用語が良く使われているのをご存知でしたか？どんな由来があってどんな意味があるのか少しばかり調べてみました

- ウダツが上がらない？
- きちょうめん (几帳面)
- 本音とたてまえ (建前)
- ま (間)

◆ ウダツが上がらない？



住まいの骨組みで最上部にある棟木を支える為に、梁の上に立てる短い柱をウダツ (真束) と呼びます。梁にこのウダツを上げると、骨組みの完成もあとわずか。ですから、社会的に成功した人は、ウダツが上がっている訳です。大目標は一生懸命仕事をして認められること。そして一軒の家を持つこと。是非頑張って両方のウダツを上

げましょう。

◆ きちょうめん (几帳面)

まじめな人や物事をきちんと実行する人を「几帳面ですね」と評したりします。この言葉も建築用語で、建具などの柱 (枠) の角をギザギザに削った装飾的な部分を指すものです。かつて、間仕切りとして使われた几帳面の柱に良く使われた柱細工な

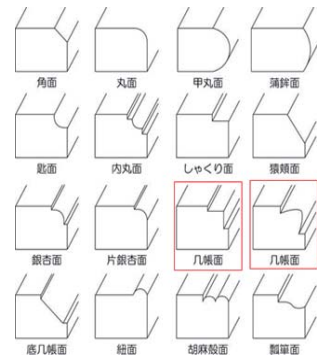
几帳面口



ので、几帳面と

呼ばれるようになったそうです。

こうした細やかな美しい細工は、無名の「几帳面」な人たちの技術と言えましょう。



◆ 本音とたてまえ (建前)

本来の方針と現実が食い違ったりすると、よく「本音と建前は別だ」などと言います。この使い分けは日本人の得意とするところですが、「建前」はもともと建築語です。棟を上げて最後の骨組みを終わることや、そのお祝いの儀式が、建前 (舞)、棟上式と呼ばれ、通常大安吉日に行われます。建前が無事に済めば、大工、左官、かわら職などの職人さんが協力して家づくりに取り掛かるのです。住まいの建前工事は家屋の基本づくり、わずかの狂いも許されません。この建前と本音は、是非とも一致する必要が望ましいですね。

◆ ま (間)



床の間、茶の間、間取りなど住まいに関しておなじみの「間」。間は元々柱と柱の間を指します。時代によって長さは違いますが、それをひとつの単位として一間としたのです。石などを積み上げて家をつくる西洋と違って、日本の建築はまず柱を建てることから始まります。窓もその

柱と柱の間に入った戸、つまり間戸 (窓) を表します。ところで、間に合う、間ちがう、間が抜けるなど、日常用語にも「間」は頻りに使われます。舞踏、落語、歌舞などの伝統芸能でも「間」はとても大切にします。これは時間を指すだけでなく、呼吸やリズムの意味も含んでいます。言葉で限定できないけれど、物と物の間や余白にある何か、呼吸 (いき) などを示す「間」は、日本人の精神や文化性を表すキーワードとなっています。

■幹事報告

(熊本東南 RC 幹事 村瀬直久)



1)

高山泰四郎 ガバナーより、「平成30年北海道胆振東部（イブリトブ）地震」支援募金のお願い。

(締切：平成30年10月31日)

2)

泉ヶ丘校区自治協議会 永田俊洋 事務局長・副会長より、伝承遊びの集いのお礼

■今後の行事

9月	9月29日(土)	職業奉仕セミナー	熊本県 熊本市	くまもと県民交流 会館パレア	古田哲朗 松本 繁 宮川義行 松岡泰光 杉本整哉 彌富照皇
10月	10月6日(土)	日田 RC 創立 55 周年記念式典	大分県 日田市	昭和学園高等学校、 マリエールオーク パイン日田	小畑成司
	10月6日(土)	R 財団セミナー	熊本県 宇城市	小川総合文化セン ター ラポート	白石 繁 村瀬直久 山田公也
	10月6日 (土)・7日(日)	ローターアクト 年次大会	熊本県 熊本市	熊本ホテルキャッ スル他	宮川義行
	10月27日 (土)	社会・国際奉仕 セミナー	熊本県 熊本市	くまもと県民交流 会館パレア	案内中
11月	11月4日(日)	宇佐八幡 RC 創立 30周年記念式典	大分県 宇佐市	宇佐神宮参集殿	案内中

■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当委員 佐野 茂)



四つのテスト (II)

ロータリーは、すべての奉仕活動の指針として、さらには、ロータリアンの人生の信条としてこの「四つのテスト」を指針にするように奨励しています。

そもそも、この「四つのテスト」の終局のねらいは、立派な人間づくりにあります。

そのためには、まず、心の中で考えていることがいつも人間として立派でなければならないということです。ものを言う言葉やあるいは行動がどんなに立派であっても、心がよこしまであれば見せかけだけになり、これではいけないということです。

日本の訳した最初の前文は「言行はこれに照らして」となっていますが、英語の原文においては“think, say or do”となっており、“say or do”ものを言ったりあるいは行動したりする場合には、それより先にまず、“think”心の中の考え方が正しくなければならないということです。

つまり、「四つのテスト」は正しくものの考え方をするための指針であると言えます。

さて、「言行はこれに照らして」ということで四つの要素があります。これをサラッと読みますと、至極当然のこのように思

われますが、よくよく吟味してみますと、なかなかそうもいかない難しさがあります。

まず第1の「真実かどうか」を考えますと、ここで、はたと行き止まってしまう。

たとえば、お医者さんがある患者を診断した結果、その患者がガンだったとします。しかし、お医者さんは、神経質な患者本人に対して「あなたはガンです」とはなかなか言えない問題があります。お医者さんは多くの場合、患者の心情を考慮して家族には本当のことを告げても、本人にはなかなか言えないのではないのでしょうか。そうした場合、「本当のことを言わない」ということになり、ここにいう「真実かどうか」に反することになるのではないのでしょうか。

また、こんな話もあります。ある肥ったご婦人の前で、「あなたはよく肥えておりますね」といった場合、そのご婦人はどう思うのでしょうか。多分「なんて失礼な」ということになるでしょう。「いや、私は本当のこと、真実を言ったのです」とは言っても、お互いにきまずい状態になることは必定です。

こう見てくると、この「四つのテスト」をそのまま日常生活にあてはめたのでは、実際の生活との間でギャップがあり、「これでは現実的ではない」などの声がかかります。これはどうもこの第1で引っかかるからです。

そこで、この「四つのテスト」を第1からではなくて、逆に第4から考えていく方法をとってみたいかどうかということなのです。

私たちがものを言ったりあるいは行動する場合に、そのことが第4の「みんなのためになるかどうか」個人の場合は「その人のためになるかどうか」ということから考えるということです。「みんなのためになるかどうか」ということは、奉仕するということです。ロータリーは「相手の身になって人のために尽くす」ということが奉仕の第一義でありますから、言行はまずこの奉仕の理念、奉仕の精神に合致するかどうかを考えます。

そして、しようとするのが、次の第3「行為と友情を深めるか」を考えます。みんなの為になるとしてやったことでも、またどんなに立派な奉仕であっても、独り善がりのものであってはなりません。そのことが、相手に喜んで受け入れるものなのか、また、友情を深めるものなのかを考えるということです。

そして、第2の「みんなに公平か」を考えます。これは大変難しいものです。文字通りに受けとることになると悪平等になりますし、逆にあまり斟酌しすぎると公平を欠くことになります。たとえば、また医療の話になりますが、痛みを訴えている患者を順番通りに見ていたのでは、奉仕にも反するし、友情を破る結果にもなりかねません。ここでは人間的な公平ということを考えなければならないということです。

そして、最後に「真実かどうか」ということを考えて結論をえるということになります。

「真実」といいますと、通常、本当のことと解釈します。では、本当のこの「事実」とどう違うのかということ。「真実」と「事実」が全く同じものと考えますと、最初に申し上げたように、行き詰まってしまう。

「事実」というのは、いわゆる本当のことで、ある事象に対して一つしかない物理的現象を指します。

では、「真実」はどうかということですが、「真実」は一つだけの答えではありません。「真実」というのは複数の答えがあるということです。

すなわち、「真実」と「事実」が同じ、等しい場合がありますが、それだけではなくて「事実」と異なる場合があり得るということです。若干哲学的な話で判りづらくなりましたが、「四つのテスト」

で具体的に見てみますと、先程からの話のように、第4から始めて第3、第2と進めてきましたように、「真実」かどうかの判断、判定は「みんなのため」「好意と友情」「公平」という要素に照らして、これにもとらない、これに反しない良心的な判断結果に基づく言葉や行動が「真実」であるということになります

事実というのは、たとえば、「その日は晴天であった」という客観的に見て本当であるさまを表します。一方真実というのは、人間の心を通して、厳密に判定した結果であるということになります。

以上が私の考えております「四つのテスト」の一つの考え方です。

皆さん方もどうかそれぞれにこの「四つのテスト」の真意をお考えいただいて、納得のいく結論を出して実行して頂けるようお願いいたします。

委員会報告

(親睦・スマイル担当委員 中島祐爾)



前年度会長・幹事慰労会及び
前年度会長杯取りきりゴルフコンペのご案内
2018年12月4日(火)
詳細は後日案内

委員会報告

(青少年奉仕担当委員 宮川義行)



RACについて

委員会報告

(職業奉仕担当委員 古田哲朗)



職業奉仕研修セミナーについて

出席報告

(出席・プログラム担当委員 福井学)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
09月12日	45 (免3) 42	33	4	37	88.10
09月26日	45 (免3) 42	33			78.57

☆新入会

☆退会

☆出席免除

09月12日 住江正治 島村徹男 鷲山法雲 河岸彦治

09月26日 住江正治 島村徹男 鷲山法雲 河岸彦治

☆欠席者

09月12日(5名)

西村陽介 内田敏視 渡邊一弘 山本浩之
山坂哲生

今度の100%出席の日は 10月24日です。

スマイル報告

(熊本東南RC親睦・スマイル担当委員
杉本整哉)



◎岩尾慶一 君(有田RC) 1,000円

お世話になります。

◎白木誠一 10,000円

誕生日を何にするか考えるのも大変ですね。親睦委員会の方ご苦勞様です。

誕生日ありがとうございました。

◎宮川義行 5,000円

本日は、有田RC岩尾さん、見学の福島さんを歓迎します。

9月22日、地区職業奉仕研修会が大分ホルトホールで行われました。9月29日パレアでの熊本研修会で古田会員が総合司会、私が開会閉会のあいさつ役を受けているので、大分を見習いに2人で参加してきました。70名近くの参加予定で、入会3年未満の会員も大勢参加され、積極的な意見交換ができました。パレアでは、松本繁会員と松岡会員が体験発表をされますので、皆さん奮ってご参加をお願いします。

◎永野昭一 5,000円

結婚記念日のお花ありがとうございました。熊本東南ロータリークラブの創立年に結婚したみたいですので、今年で35回目になります。今後も仲良くしていこうと思います。

◎彌富照皇 2,000円

有田RC岩尾様のご来訪及び、福島様のご見学を歓迎いたします。

会員卓話

(川崎直樹 会員)



自己紹介

川崎直樹

昭和60年生まれ33歳

現在、(有)川崎木工にて働いています。

趣味はダンス。
五年前からダンススタジオZENを開校。

木育とは何か

・木育の発祥と展開

・木育の対象

「木育・もくいく」の誕生

●平成16年度に北海道・木育推進プロジェクトチームの中で検討され、生まれた造語

●「子どもをはじめとするすべての人が木を身近に使っていくことを通じて、人と、森や木との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むこと」

●木育を通して心や人間を育てる。

国産材の利用推進のための取組

林業への意識、安全性、快適な生活(住宅)、森林と生活環境	木材に対するイメージ、森林に対するイメージ、職業観、材料観(循環利持続可能な社会、環境保全、用・再生資源)、感性、木の文化、自然との共存
●これまであまり重視されなかった	●これまであまり重視されなかった
●クラシ	●ヒト
●カネ	●モノ
●木材の生産コスト、加工コスト、流通、価格、マーケティング補助金制度	●木材の品質、生産技術、製材・加工技術、乾燥技術、産地別規格整備、林業の機械化
●重点項目として取り組む	

木や森林とヒトとの関係 (1960年代以前)

- エネルギー源:薪や炭(お爺さんは山へ柴刈りに...)
- 食料:木の実やキノコの他、野生動物
- 建物:建築用材としての木材
- 道具:日用品、仕事用の道具の材料、自ら作る
- 農業:肥料(腐葉土、木灰)
- 遊び場:野山で遊び、木登り、秘密基地
- ものづくり:木で道具を作り遊ぶ

○ヒトの成長:多くの生活資源と、それらを利用する段階では知恵と生活技術を得ていた[只木 2004]
○日本は森林国家で豊かな森や木の文化を育む

木や森林とヒトとの関係の変化(1960年代以降)

住居環境の変化、生活様式・構造の変化、木材に変わるプラスチックや金属製品などの代替物の出現などにより、木や森林と人間との関係が遠のく

それらの物資を利用しなくなるにつれて、「生活技術の総合性」が低下していった。代替物の使用は、生活が豊かで快適になる一方で、人間の能力を後退させてしまった

我々の生活の変化が森林と人間との関係性の悪化を生み出しているといえる(木や森林は変わらないが、ヒトが変わってしまった、関係性が変わった)

「木育」の意義

国産の木材を使う意義

- ・森林の整備
- ・地球温暖化の防止
- ・大気・水・土壌の環境保全
- ・豊富な森林資源が活用されない

住環境の変化
プラスチック製品の普及
森林・里山・木材との関わりの変化

→ 木材に触れる機会が減少

児童の木材の良さ、木材を使う意義についての認識が低い傾向にある。



学校や地域活動での出前授業



木材の需要拡大のための消費者教育

木育の社会的な役割

●木育に期待される役割

- 人格の形成、諸能力の発達(個人)
21世紀を担う市民の資質向上
- 地域文化の再構築(地域)
木材文化の復興、伝統・文化の継承
- 持続的・社会・環境の形成(地球規模)
持続可能な開発の実現

お碗(茶碗)とお椀は、どう使い分けていますか



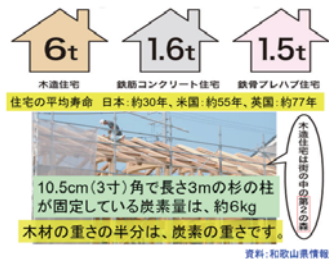
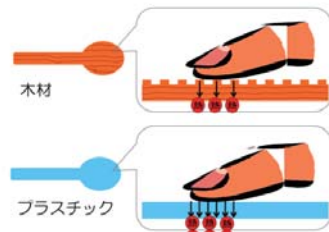
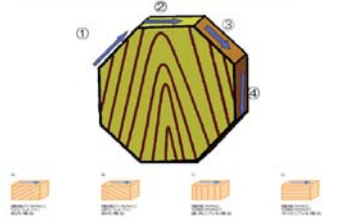
碗(わん)とは飯や汁物などを入れるための食器。木製のもの木製の碗、陶磁器製ものは石製の碗を用いる。資料:ウイキペディア

ご飯は陶磁器、汁物は木製を使うのはなぜ?

木育で育てたい子ども・市民

- 木育のねらい
- 1)産まれた時から老齢にいたるまで、木材に対する親しみを持つこと
- 2)木材の良さや特徴を学び、その良さを活かした創造活動を行うこと
- 3)木材の環境特性を理解し、木材を日常生活に取り入れること

かんながけ ①~④のうちどれが削りやすい?



2つの模様を見比べてみよう。



板の表面の模様(木目) 人工的に作成した模様



日本で最も古い木造建築物 約1400年前に建造

会員卓話

(堀内健太郎 会員)

お断り:堀内健太郎 会員の卓話の内容は、紙面の都合上次週の週報に掲載させていただきます。



点鐘

編集者 松岡泰光

ロータリーボイス

世界で行動する人びとの体験談とストーリー

キャリアを後押ししてくれたロータリー

投稿日:8月29,2018

By ジョイシー・ラウ (香港、蘭桂坊ロータリークラブ)

180820-joyce-lau 香港中文大学に入学した日、先輩に崇基学院ローターアクトクラブに誘われました。これがきっかけとなって、ローターアクトという素晴らしい世界への扉が開かれ、私はそこでリーダーシップのスキルと組織力を磨きながら、数々の充実した活動に携わりました。SARS(重症急性呼吸器症候群)患者への支援、ロータリー指導者養成プログラム(RYLA)合宿の企画、地域社会を基盤とする新ローターアクトクラブの設立などがその例です。

ローターアクトから多くを得た私にとって、ロータリー入会の機会が訪れたとき、当然のごとく入会しました。しかし、ロータリーがキャリアを後押しをしてくれるとは思っていませんでした。

3年前、私が所属する新界ロータリークラブの元会長、チェンさんから電話がありました。香港の株式市場に上場しようとしていた彼の会社で、経理財務部長として働かないかと声をかけてくださったのです。

後になって、私を採用した理由をチェンさんに尋ねてみました。ロータリーを通じて10年以上、私と付き合いのあったチェンさんは、私が信頼できる人だと思ったそうです。確かに私は、ローターアクトとロータリーの両方を通じて四つのテストの実践を心がけています。

会計士としてほかのロータリアンと仕事をしたり、地域社会や地区で活動を続けられたことを幸せに感じています。ロータリアンだった私の上司は、会計士としてのスキルと評判を高めるために業界団体でも活躍するよう励ましてくださいました。

キャリアに役立つコミュニケーションやリーダーシップのスキルが磨かれることは、ローターアクトやロータリーの明らかな恩恵の一つです。企業が望む人材となれるだけでなく、奉仕の精神も培われます。雇用主であるロータリアンは、この人材の宝庫から信頼できる社員を探せるだけでなく、自らの仕事の知識を生かして、若い世代の成長を後押しすることができます。そうすることで、ローターアクトとロータリーの両方における会員増強につながるでしょう。これこそ、ロータリーの職業奉仕の実践といえます。

